

# 附中通信

三重大学教育学部附属中学校  
No.3

令和3年11月9日

朝夕めっきりと肌寒くなり、中庭のイチョウの葉も黄金色に染まりつつあり、秋の深まりを感じています。

2学期当初からのオンライン授業の実施によりコロナ禍での学びを実感し、教育実習は様々な授業形態での15日間でした。先月、中間テスト後ようやく部活動が再開し、3年修学旅行・2年美術館見学・学校祭と立て続けに行事を実施してきました。振り返ってみれば、厳しい状況の中で、主体的に変化に対応しながら、みんなで乗り越えてきた二ヶ月余りでした。

2学期もあと約40日となりましたが、これまでの取組を生かして、より充実した学校生活となるよう日々の学校生活を大切に過ごしてほしいと願っています。

現在、新型コロナウイルスは沈静化していますが、日々の感染防止対策を怠らず、教育活動を進めていきます。

## 学校祭 表現し合う学校へ

10月28日(木)・29日(金)の2日間、好天にも恵まれ、前期生徒会が中心となり、みんなで創り上げた学校祭が、素晴らしい成果を残して無事終了しました。

初日の文化祭は、各種発表において、様々な工夫を凝らし、思いを込めて発表する姿や、これまでのSTEP(探求学習)で深めた学びを堂々と発表する姿がみられました。2日目の体育祭は、何度も計画の変更を余儀なくされましたが、昨年同様、規模を縮小して密を避け、学年別に演技を行い、縦割り得点を競いました。中学生らしく精一杯演技する中で、1・2年のよき手本となるべく演技・応援する3年生の姿が特に印象的でした。学校祭終了後、会場が達成感に包まれる中、前期生徒会役員から全校生徒に対して感謝の気持ちや様々な思いが語られ、後期生徒会に引き継がれました。

2日間を通して、全校生徒が一体となって、学び続けてきたことを豊かに表現しようとする姿が随所にみられ、本校がめざす生徒自らが学びを表現し合う学校をみんなで示すことができました。

今回の成果を、ぜひとも、これからの学校生活に生かしてほしいと思います。



# 津市中学校駅伝競走大会 女子の部 二連覇達成!

10月30日(土)、津市中学校体育連盟主催の第16回津市中学校駅伝競走大会が、一志中学校周回コースで開催されました。女子の部は、津市内の11チームが出場し、本校陸上競技部が見事「二連覇」を果たしました。1区のエース林千葡選手が区間賞の走りの11秒差をつけてタスキを渡すと、2区杉本充優選手(区間3位)、3区川北葉音選手(区間2位)、4区石川結愛選手(区間3位)の3選手が堅実な走りでもつトップを守り、19秒差で最終5区へタスキをつなぎました。5区のエース林千華選手は、区間賞の走りでもつ2位との差を43秒差に広げてゴールしました。サポートの選手を含めチームでもつ栄光を讃えるとともに、県の駅伝大会でも活躍を期待したいと思います。

1区(3.3km)	3年 林 千葡(区間賞)	12分00秒
2区(1.9km)	2年 杉本充優(区間3位)	7分26秒
3区(1.9km)	3年 川北葉音(区間2位)	7分17秒
4区(1.9km)	3年 石川結愛(区間3位)	7分36秒
5区(3.3km)	3年 林 千華(区間賞)	11分43秒



スタート直後、先頭に立つ林千葡選手。このまま先頭を守り切って2年連続の区間賞獲得。



2年連続で優勝のゴールテープを切る林千華選手。3年連続となる区間賞獲得。



優勝の賞状を受け取る2区区間3位の力走を見せた杉本充優選手



優勝盾を受け取る3区区間2位と優勝に貢献した川北葉音選手



優勝の賞状を受け取る3区区間3位と好走した石川結愛選手